



月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合
 〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
 電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
 (公) 043 (222) 7203 番
 97.12.4 No. 4763



津田沼支部大会開催 「歴史ある津田沼支部 の支部長として」 (相馬新支部長)

十一月二十八日、船橋東部公民館において、津田沼支部第二十二回提起大会が開催された。大会は、井上哲郎君を議長に選出して開会。冒頭あいさつにたった庄司支部長は、「動労千葉は今年、二八名の不当解雇を全面撤回させる大きな勝利をかちとつた。動労千葉は今も恒常的なスト体制といふことでいつでも闘いに起る体制をとっている。二八名の勝利をステップに、清算事業団12名の解雇撤回、そして強制配転や予科生を原職に戻

十一月二十八日、船橋東部公民館において、津田沼支部第二十二回提起大会が開催された。大会は、井上哲郎君を議長に選出して開会。冒頭あいさつにたった庄司支部長は、「動労千葉は今年、二八名の不当解雇を全面撤回させる大きな勝利をかちとつた。動労千葉は今も恒常的なスト体制といふことでいつでも闘いに起る体制をとっている。二八名の勝利をステップに、清算事業団12名の解雇撤回、そして強制配転や予科生を原職に戻

すために全力で闘いを進めたい。山一証券が倒産するなど、時代は大変な危機を迎えている。日本は新ガイドラインの制定や行革攻撃によつて戦争への道を踏みだしている。これからも闘う労働運動をつくりあげるために全力で闘いぬこう」と訴えた。続いて、執行部より経過・決算報告、運動・財政方針の提起を受け、活発な質疑が行われ、相馬新支部長をはじめとした新たな執行体制が選出された。

相馬新支部長は、「歴史ある津田沼支部の支部長として全力で頑張りたい」とあいさつ。力強い団結ガンパローの音頭で、大成功のうちに大会を終了した。

【だされた主な意見】

- 強制配転粉砕に向けた署名運動について、どのように展開すればいいのか、考え方を聞きたい。
- 来年三月のダイ改についてどのような状況が聞きたい。
- 来年、二〇九系の車両が入ってくると言われていたが、検修関係の要員はどうなるのか。
- 東労組は快速担当を増やせと言っているようだが、運転保安上からも、快速担当はなくしてほしい。

● このダイ改で、業務が東京から若干戻ってきたが、当局もどうしようもなくなっているという事だ。事前通知の凍結問題も根底にあるのは東労組だ。今後どうなるのか。

● 今車輪転削をやっているが、交換が回らないときは転削を止めて交換に回つたりしている。これからの検修要員はどうなるのか。

新たな支部体制のもと 新フレイト21粉砕へ

新小岩支部定期大会

● 新小岩支部は、十一月二十九日第二十一回定期大会を開催し、三月ダイ改から九月基地移転と未曾有の統廃合攻撃との対決しつつ、新たな支部体制を築き上げた勝利をテコに、新フレイト21攻撃粉砕へ総決起することを確認した。

● つづいて来賓として東部労組交流センターと国鉄闘争支援葛飾地区連絡協議会の代表からそれぞれあいさつを受けた。また本部田中書記長はこの一年貨物支部にとつて大きな一年だった。基地統廃合攻撃に職場と団結をまもり闘ってきた。動労千葉もひとつのフシ目を迎えている。

● 大会は組合員・来賓三十名が結集し、議長に梶ヶ谷正君を選出した。冒頭あいさつに立った君塚支部長は、「この一年間フレイト21が破産し新フレイト21が出され、基盤整備と佐倉廃止が一緒にかけられてきた。三月にはストで闘い、佐倉の仲間をむかえて現状になった。合理化のしわよせが出ていたが、今後も京葉線への移行問題などがあるが、皆で議論をかさね闘いぬこう」と訴えた。

● 十二月に退職する飯田さんから、誇りをもって生きたいと思う、動労千葉を大きくしてください。病気休職中の関さんから、来年には職場復帰をはたす。とそれぞれ力つよいあいさつを受けた。

【新執行体制】

支部長	相馬 正利
副支部長	三代川 学
書記長	高澤 成夫
執行委員	福嶋 勝之 結城 敏之
特 執	庄司 仁
会計監査	徳田 精秀 藤守 秀孝



第21回定期大会

● 最後に支部長の団結ガンパローで支部大会は成功裏に終了した。

【新たな執行部】

支部長	君塚 正治
副支部長	宮内 正志
書記長	服部 和夫
執行委員	笠井 清 斎藤 隆男 並木 敬治
会計監査	鈴木 康己 栗本 一幸

新たな10万人合理化粉砕!! 労働運動の新たな潮流めざし全国へはたごう!!